LEDY－STICKS

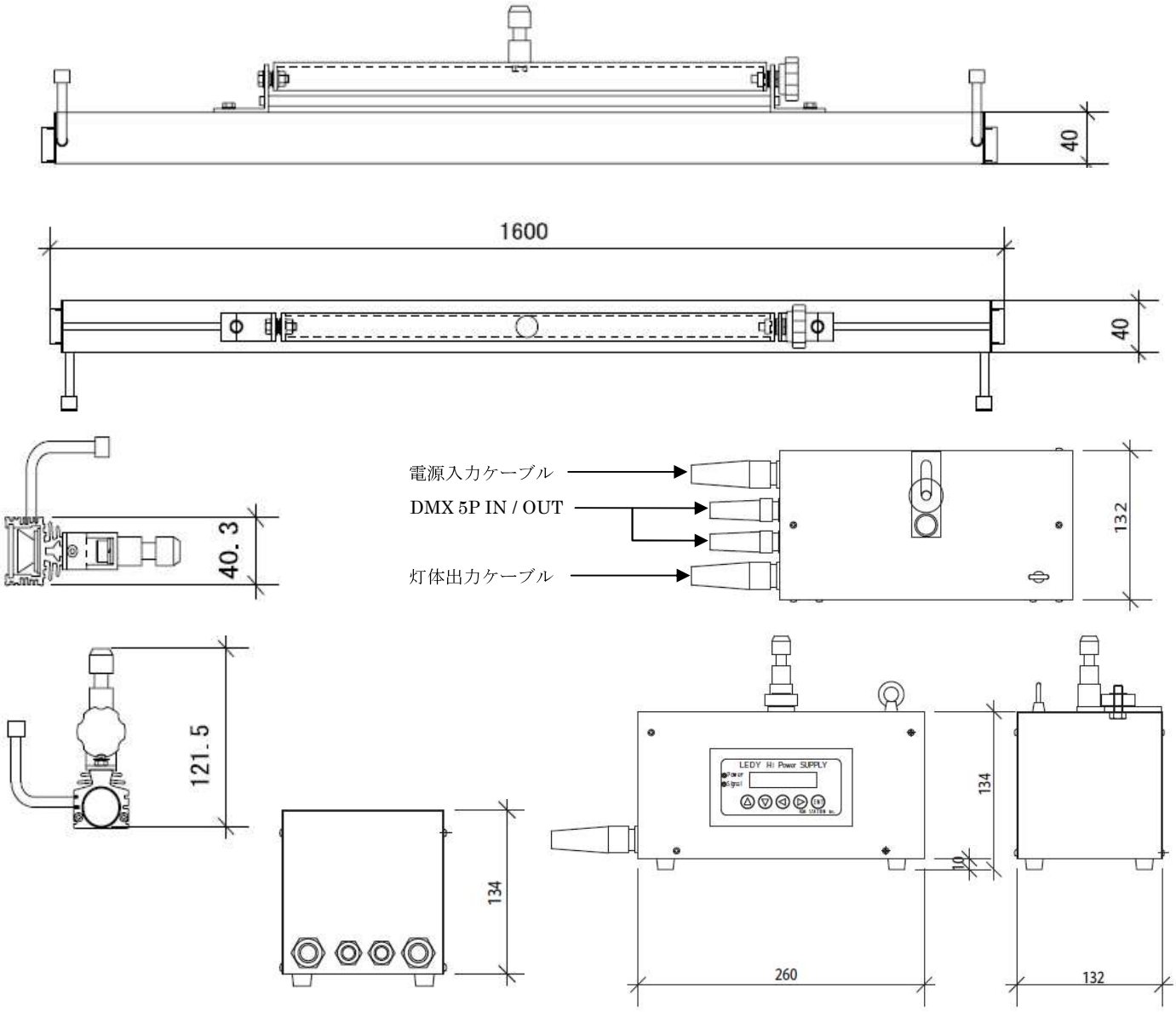
取扱説明書　Ver,1.13

2009.10.29

２、LEDY-STICKS　サイズ図面
３、仕様書
４、パワーサプライ仕様説明概略
５、Intensity 説明　Address 設定
６、DMX 番号による設定
７、Set-up　Mode　　Set-up の仕方
８、Time-Delay、　DMX-Signal、　Power-Save Mode,
９、LCD – Backlight、　Operation Lock、　Exit　Set-up,
10、SCENE MODE　Scene の作り方。
11、
12、
13、Goto Scene PLAY　シーンの再生方法。
14、
15、
16、CHASE　シーンの作り方。
17、
18、
19、CHASE　シーン再生方法。
20、MODE　システム概要
21、SCENE、CHASE　システム概要、
22、注意事項

株式会社　ケイエムステーション

LEDY－STICKS size



≪重　量≫

灯　体　重　量 :3.2 kg

電源 BOX 重 量 : 3.3kg

1.型式

LEDY-STICKS

2.構成

名称	仕様概要	数量
SPOT 本体（灯体）	アルミダイキャスト製灯具	1 台
電源 BOX	電源 BOX	1 台

３.仕様

番号	項　目	諸　元
1	供給電源	AC90V～240V　50/60Hz
2	定格消費電力	90VA 以下（全色最大出力時） #R:25 #G:28 #B:28 #Am:29 #W:36 (VA)
3	LED 型式	LUXEON　K2

4	LED 数量	#R,#G,#B,#Am, #W:各５個　＝　２４個
5	配光角	５度
6	LED 冷却方法	自然冷却
7	制御信号	DMX512　5PXLR コネクターIN/THRU　2m コードつき
8	入力電源接続	3P 平行（2P　E 付き）プラグコード　2m コードつき
9	絶縁抵抗	交流電源入力端子一括　対　筐体間　DC500V、10MΩ以上
１０	絶縁耐圧	交流電源入力端子一括　対　筐体間　AC1500V、10mA、１分間

１２	材質	灯体	ヒートシンク　アルミ、アーム　SUS304
		電源	外箱 SUS304
１３	表面処理	灯体	黒色アルマイト
		電源	焼付け塗装　黒３分艶
１４	使用温度範囲	0℃～＋40℃	
１５	使用環境	腐食性ガスや塵埃のないこと、過大な振動や衝撃のないこと	
１６	外形寸法	別紙外形図参照	
１７	重量	灯体	3.2ｋｇ
		電源	3.3ｋｇ

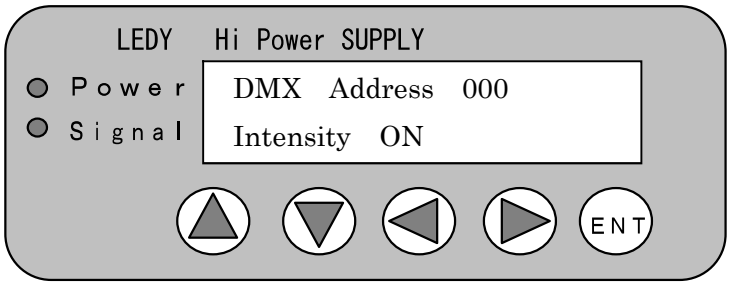
パワーサプライ仕様説

1．　DISPLAY 表示

電源を入れると　図のように表示されます

設定内容　：DMX 番号　又は灯体番号

：Intensity　ON　or　OFF



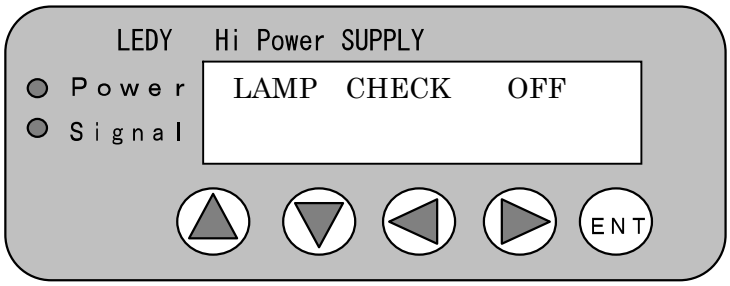
Power　Lamp　表示　赤

Signal　表示　緑　DMX 受信状態

※ Signal　Lamp　緑　がランダム点滅の場合

DMX 信号が不安定な状態

LAMP　CHECK



ボタンを１度押すと“LAMP　CHECK”モードに入ります。

ボタンを押し　“LAMP CHECK　ON”表示にします。

ENT ボタンを押し　ランプを点灯させます

（　全色点灯します）　※仮シュート時にお使いください。

ボタンを押し“LAMP CHECK　OFF“　表示にし ENT　ボタンにて　消灯してください。

Intensity

※使用コンソールに伴う　Ch の設定

パーソナリティーを使用し設定する（　AVO,　Hog,　GMA　など）

※Intensity-“ON”(9ch)

CH-1　Intensity
CH-2　#B
CH-3　#G
CH-4　#R
CH-5　#Am
CH-6　#W
CH-7　Strobe
CH-8　Mix-color/ 1
CH-9　Mix-color/ 2

※　MIX-Color / 1

1. #R
2. #Am
3. #LA
4. #Y
5. #YG
6. #LG
7. #G
8. #BG / 1
9. #BG / 2
10. #Cyan
11. #LB
12. #B
13. #DB
14. #Congo
15. #MG

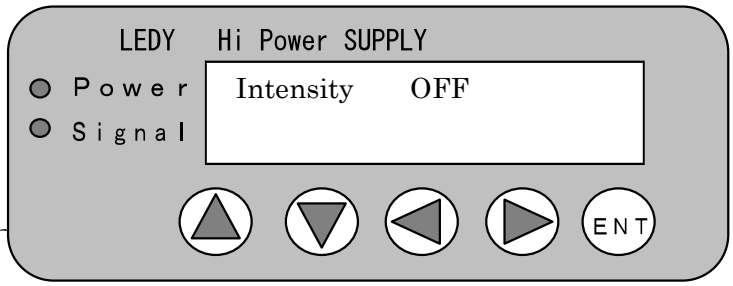
※　MIX-Color / 2

1. #W-Full
2. #A-1
3. #A-2
4. #A-3
5. #A-4
6. #B-1
7. #B-2
8. #B3
9. #B-4
10. #Pu-1
11. #Pu-2
12. #Pu-3
13. #Pu-4

★ Intensity “ OFF”(6ch)

1. #B
2. #G
3. #R
4. #Am
5. #W
6. Strobe

Intensity



ボタンにて Display 表示

“Intensity “

ボタンにて “ON” ” OFF “を表示す

ENT ボタンにて確定する。

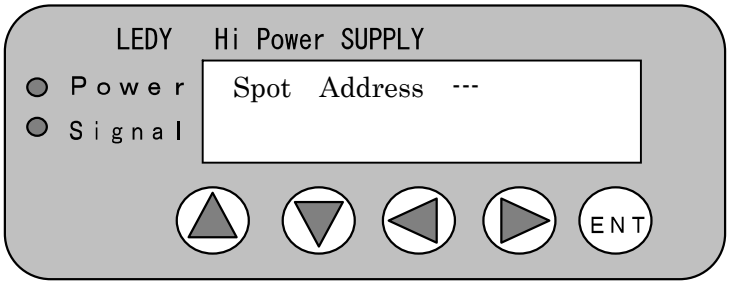
DMX、Address 設定

※DMX の設定には 2 通りあります。

1. SPOT-番号による設定
2. DMX 番号設定

注意！！

DMX,SPOT-Address は”Intensity”によって左右されますので 必ず “Intensity”を設定後にしてください



1．Spot-Address による設定

ボタンにより “Spot Address----“ を表示します。

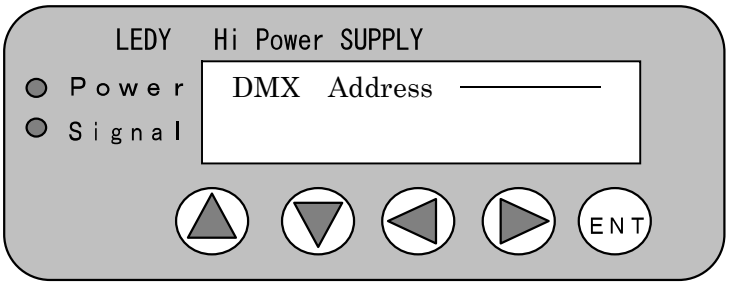
ボタンにより 任意の番号を表示させます。

ENT ボタンにより確定

Add 番号	DMX 番号	Add 番号	DMX 番号	Add 番号	DMX 番号
1	**1**	*11*	**91**	*21*	**181**
2	**10**	*12*	**100**	*22*	**190**
3	**19**	*13*	**109**	*23*	**199**
4	**28**	*14*	**118**	*24*	**208**
5	**37**	*15*	**127**	*25*	**217**
6	**46**	*16*	**136**	*26*	**226**
7	**55**	*17*	**145**	*27*	**235**
8	**64**	*18*	**154**	*28*	**244**
9	**73**	*19*	**163**	*29*	**253**
10	**82**	*20*	**172**	*30*	**262**
Intensity – ON 9ch 仕様					

SPOT 番号	DMX	SPOT 番号	DMX	SPOT 番号	DMX
1	**1**	*11*	**61**	*21*	**121**
2	**7**	*12*	**67**	*22*	**127**
3	**13**	*13*	**73**	*23*	**133**
4	**19**	*14*	**79**	*24*	**139**
5	**25**	*15*	**85**	*25*	**145**
6	**31**	*16*	**91**	*26*	**151**
7	**37**	*17*	**97**	*27*	**157**
8	**43**	*18*	**103**	*28*	**163**
9	**49**	*19*	**109**	*29*	**169**
10	**55**	*20*	**115**	*30*	**175**
Intensity ---- OFF 6ch 仕様					

2. DMX 番号設定



ボタンにより “DMX Address”を表示

ボタンにより DMX 番号を選択

ENT ボタンを押し 確定

☆☆☆ 数値早送りの方法

DMX 番号、Address 番号などの数値を早送りには

ボタンを押しながら のどちらかのボタンを押し続ける

数値が早送りになります。早送りを解除するには、 ボタンから指を離してください。

数値が行き過ぎた場合は、 ボタンにて数値を戻してください。

数値の早戻し操作も同様です。 ボタン操作が ボタンに変わります。

MEMO

Set – UP　Mode

Set-UP Mode　設定事項

１．　CURVE

・Slow-Bottom　（スローな立ち上がりカーブ）

・Slow-curve＋Flash (カーブは”Slow-Bottom”より少し粗め　0-100%の反応を重視)

・LEDY-Spot60-Mode（LEDY-SPOT60 と併用する場合に使用します。）

・MARBLE-Mode (MARBLE と併用する場合に　MARBLE の”Curve-SS”と同じ Curve になります。）

２．　Time Delay

一般調光、ムービングなどの　点灯のタイムラグを調整します。

３．　DMX　Signal

DMX ケーブルが使用中に抜けたり、断線した場合　直前のデーターを保持　もしくは消灯の 2 種類を選択します。

４．　POWER　Save　Mode

長時間全点灯時に　全出力を 15%抑えます。

（展示会など　全色使用して#W を出力する場合などに使用）

※詳しい説明は　次のページ “POWER　SAVE “にて

５．　LCD　Backlight

Display のバックライト　ON　or　OFF　　動作移行時間 30 秒

６．　Operation

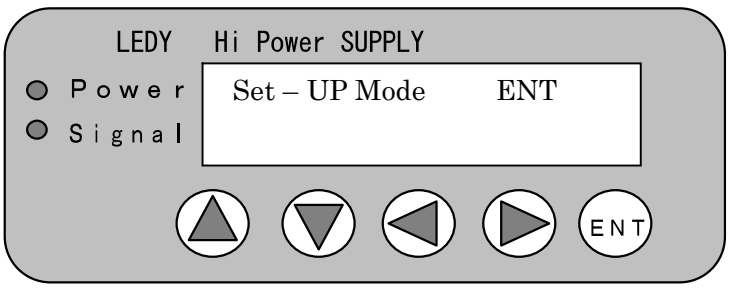
Intensity, Address,など各種設定事項のロックをかけます。

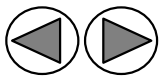
７．　FAN　Control

５５°にて、自動的にＦＡＮが回り始めます。(Auto-25%)

８．　EXIT　Set-UP　Mode

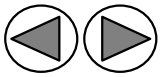
SET-UP 設定の方法

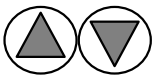



ボタンにより図 “Set-UP Mode ENT”

ボタンを押し　Set-up Mode に入る

1.　CURVE　（default =Slow-Bottom ）


ボタンにより “CURVE” を選択し


ボタンにて

・Slow-Bottom(default), スローな立ち上がりカーブ

・Slow-curve＋Flash, カーブは”Slow-Bottom”より少し粗め　0-100%の反応を重視

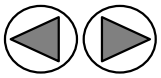
・Lady-Spot60 Mode, Ledy-spot60 と併用する時に使用。

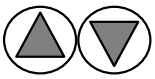
・MARBLE-Mode ,MARBLE と併用する場合に　MARBLE の”Curve-SS”と同じ仕様になります

4 種類から選択し

を押し確定

2．Time　Delay（default = 0.06sec）

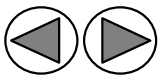

ボタンにより　“Time Delay”　を選択

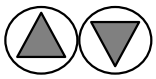

ボタンにて　下記図の　Time Delay を選択し

ボタンにて確定

1(default)	2	3	4	5	6	7	8	9
0.06sec	0.00sec	0.03sec	0.10sec	0.15sec	0.20sec	0.25sec	0.30sec	0.50sec

3.　DMX Signal (default = Hold-ON)


ボタンにより　“DMX　Signal”　選択


ボタンにて　“Hold-ON”　“Hold-OFF”選択し　

にて確定

※Hold-ON　卓からの信号が遮断（ケーブル断線、コネクター抜け）された場合に　直前のデーター(default)　を保持します。

※Hold-OFF　卓からの信号が遮断（ケーブル断線、コネクター抜け）された場合に　点灯している場合は消灯します。

注意！！

Holo-ON　にしている場合　次のデーターが送られるまで　保持いたします。
消灯する場合は電源によるリセットを行います。

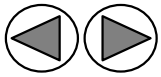
4．POWER-Save　Mode（default = OFF ）

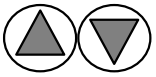
LEDY SPOT は LED 基板、電源部をセンサーにより温度管理をしています。このため LED 基板温度 80℃、電源部分 65℃を超えた場合、センサーにより　LED 基板　電源ドライバーの出力を押さえる機能があります。

POWER-SAVE　Mode を使用することにより　長時間の全色全点灯によるセンサーの働きを抑止します。展示会などによる　長時間　全色を使用して#W を出力する場合にご使用ください。

POWER-SAVE を　“ON”に設定すると全体の出力を 15%抑えます。

５．LCD　Backlight　（default =Auto- OFF ）


ボタンにて　“LCD Backlight” を選択

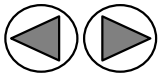

ボタンにて　“ ON “　“ Auto – OFF “ 選択し　

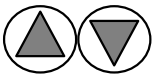
にて確定。

※ Autio – OFF 設定　30 秒後　消灯します。　また、　Display 操作ボタンを押すと　LCD　Backlight は点灯し　30 秒後に　消灯します。

※　ON　－　常時 LCD　Backlight　が点灯しています。

６．Operation　（default = Lock – OFF）


ボタンにて　“ Operation “ 選択

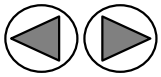

ボタンにて　“ Lock – ON “　“ Lock – Off” を選択　

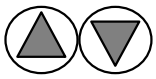
ボタンにて確定。

Lock-ON　解除方法

ボタンを 5 秒以上押してください。Lock が解除されます。

７．FAN　Control　Mode


ボタンにて　“ FAN Control Mode“ 選択


ボタンにて　“Auto-２５％“　“　５０% FAN-Speed” “１００% FAN-Speed”　ＦＡＮ-OFF

ボタンにて確定。

８．EXIT　　Set－UP　Mode

Set-UP Mode から　の離脱

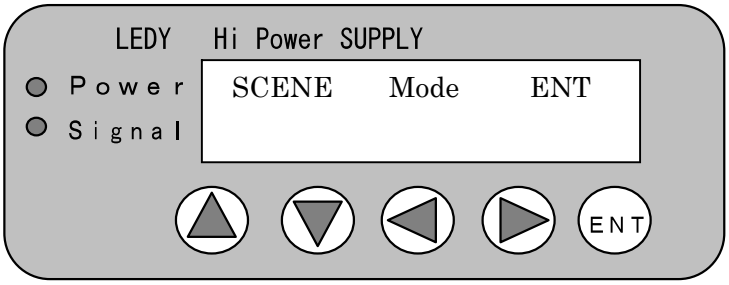
ボタンを押すことにより　“Set-UP Mode” より　離脱いたします。

MEMO

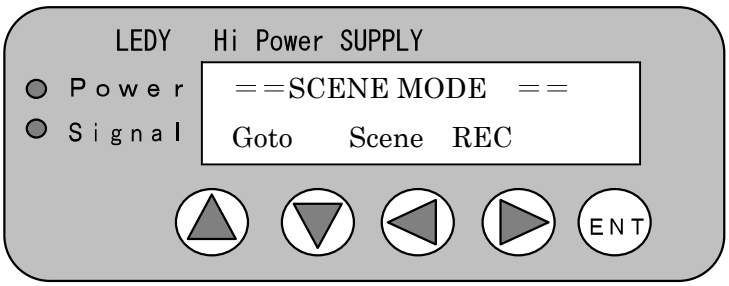
SCENE　MODE

・シーン　999　scene
・CHASE　10　scene
・CHASE　Time　Fade-IN　0”~3000”
・WAIT – Time　　0”~3000”

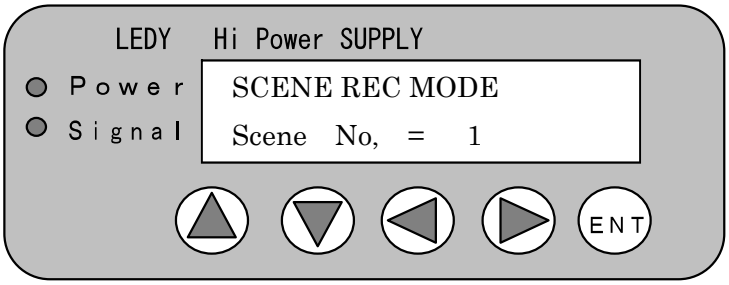
SCENE　の作り方



①　SCENE　Mode　ENT　→　(ENT) を押す。



②　Goto　Scene　REC　→　(ENT) を押す



③　Scenen　No,　(▲)(▼) ボタンにて“シーン No”を決め

(ENT) ボタンを押す。

※シーンの color の作り方は３種類あります。

１、Mix Color Input　あらかじめ MIX-Color

#14,#16,#17,#18,#22,#31,#33,#35,#37,#38,#40,#45,#52,#55,#57,#59,#64,#65,#67,#DB,#72,#75 #78,#79#83,#84,#85,#87,#88,#Pu-4,Cool#W,#W の３３色（一部ポリカラーと同じ色調ではありませんので参考にしてください。）が用意されており、各 Mix Color の明るさ（Intensity）も調整できます。

Color　Mode にて Mix Color の出力された色調レベルを#B,#G,#R,#Am,#W 各色にて調整可能です。

２、Color　Mode

#B,#G,#R,#Am,#W 5 色の出力レベルを調整することにより　SCENE を作ります。

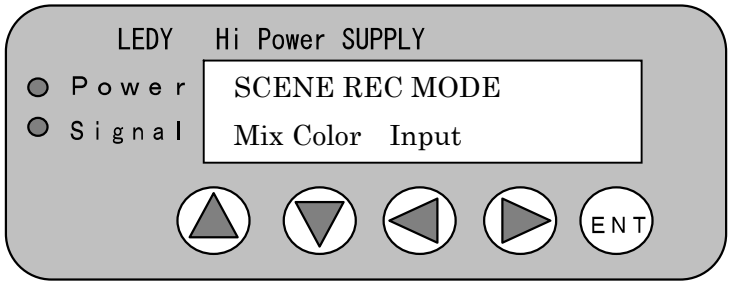
３、DMX 出力を記憶する。

※ STROBE の入力

各シーンに対して　ストロボ効果を入力することができます。

“STROBE”　出力にて１１％からストロボが点滅いたします。

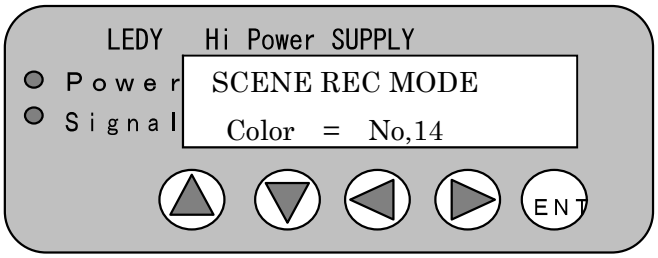
レベルが９９％が最大　１００％にて全点灯になります。



１、　Mix Color Input　ENT　押し　Mix Color Mode へ

２、 Mix Color Input　▶　押し　Color Mode へ

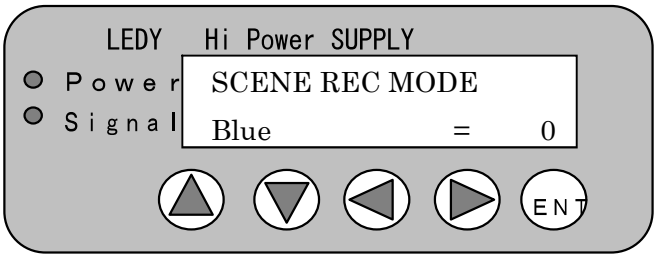
Mix　Color による”SCENE”の作り方。



①Mix-Color の番号が表示されると共に 100%にて出力されます。

▲▼ ボタンにて任意の色を選ぶ。

Color　Mode　による”SCENE”の作り方。



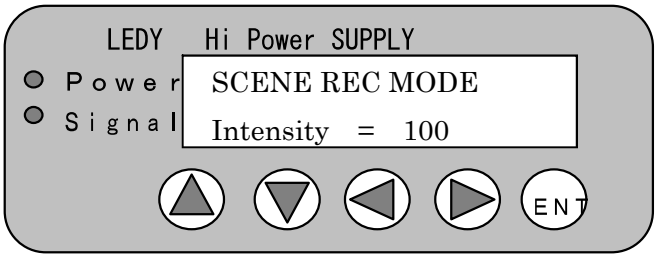
① 最初に　Blue　=　0　の表示がされます。

▲ ボタンを押すと出力され 100 にて Full になります

▶ を押すと　#G,#R,Am,#W,STROBE の順に表示されますので ▲▼ ボタンにて出力レベルを決めてください。

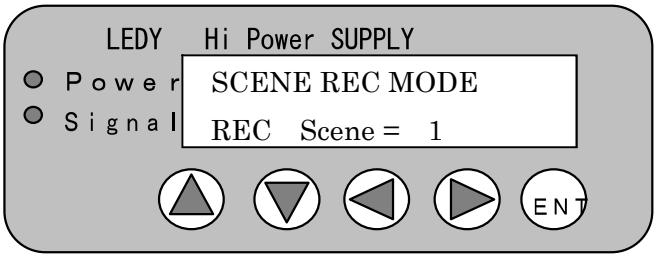
▶ ボタンにて　“STROBE”　表示まで送り

▶ もう一度押し　下図を表示する。



ボタンを押す。　“Intensity = 100”表示

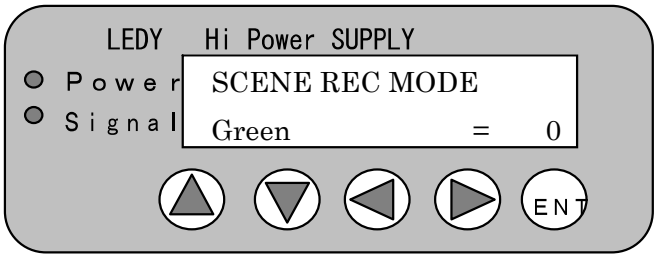
ボタンにて出力レベルを調整。



ボタンを押す。”REC Scene = 1“ 表示されます。

ボタンにて　シーン番号を設定

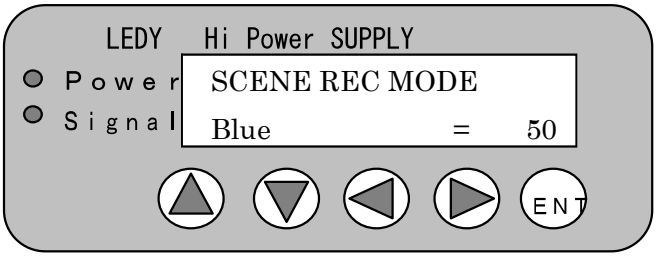
ENT にて　シーン確定



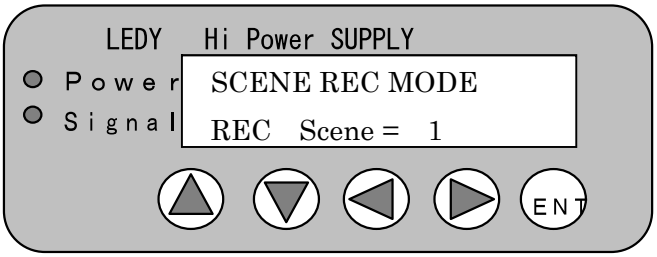
MIX-Color の色の微調整

“REC Scene = 1”　表示の時に　ボタンを押します。

ディスプレイが下図のように　表示されます。



MIX-Color にて出力されている　色調レベルが表示されますので
“Color-Mode”と同様にレベル調整をし ENT にて確定します。
但し、修正した数値は　MIX-Color の元の数値には反映されませんので
いくつかのシーンにて使用する場合は　“SCENE REC”の時に　番号を選び複数の記憶してください。



ENT ボタンにて　シーンの確定をします。

また、いくつか同様のシーンを作りたい場合は
この時にシーン番号を変え　記憶をすると便利です。

注意事項－1

CHASE のステップシーンは、
SCENE-1～SCENE-10　→　CHASE-1
SCENE-1~SCENE- 6　→　CHASE-2
　上記のように　通し番号でしか CHASE を作成できません。このため　同じシーンカラーを CHASE にて何回も使う場合は、あらかじめ同じ色をシーン番号に振り分ける必要があります。

注意事項-2

Mix-Color を使用して　各色にてレベルを修正”SCENE REC”したのち　そのシーンを REC Mode にて呼び出して元の Mix-Color を表示した場合　出力レベルが　元になっている Mix-Color になってしまします。これは　記憶した数値が変更されているのではなく、ただ ROM の数値に基づいた色を出力しているだけですので、記憶したデーターに変更はありません。
“SCENE REC”にて　ENTER　を押さない限り修正されませんので、”Mode EXIT”　ENTER にて離脱してください。

Goto Scene PLAY

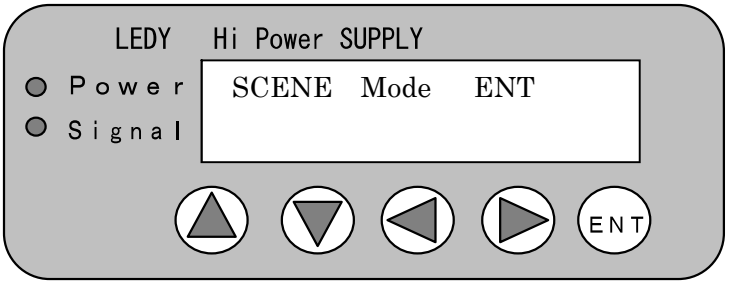
シーンの再生の注意点について

Scene PLAY モードにおいて　再生できるシーンは　1 シーンのみです。
また、Scene PLAY モードにて設定した場合、電源を一度落とし、再度電源を入れた場合　1 秒にて設定したシーンを再生いたします。

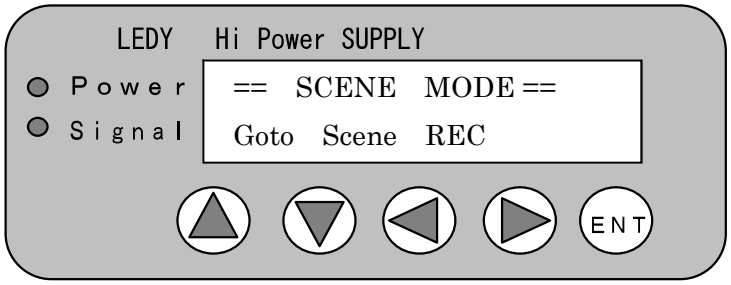
1 台の灯体にて　シーンを変えたい場合は、CHASE　Mode　をご使用ください。

※Scene PLAY (シーン再生)の仕方。

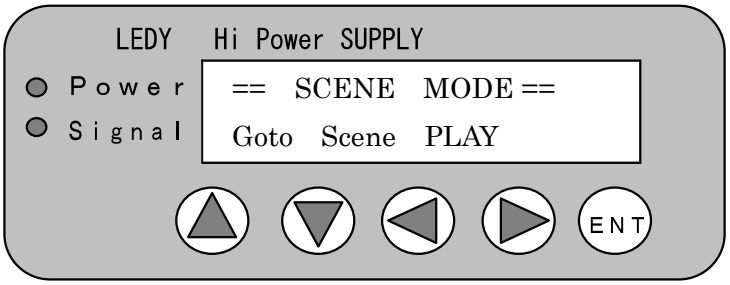
ボタンにて　下図の表示させる。



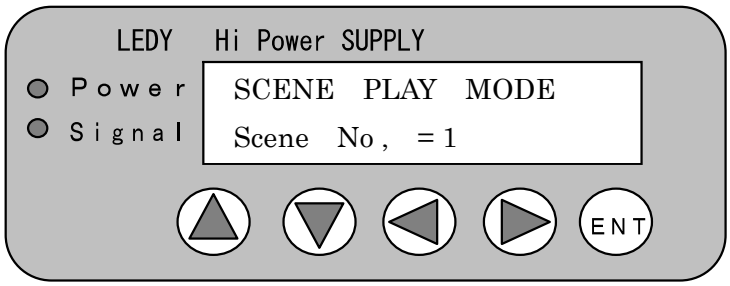
ENT ボタンを押し　　= = SCENE　MODE = = に入る



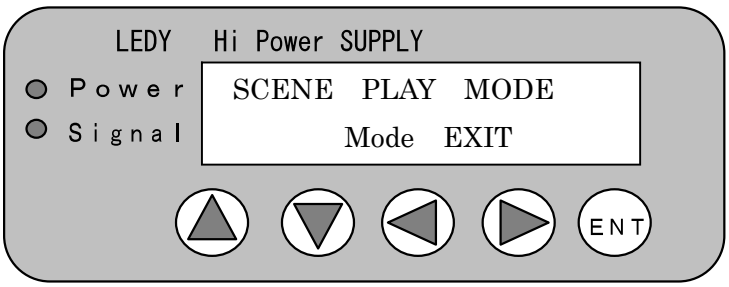
ボタンを押し　= = Goto　Scene　PLAY = =　を表示



ENT ボタンを押す。シーン番号選択モードになる。



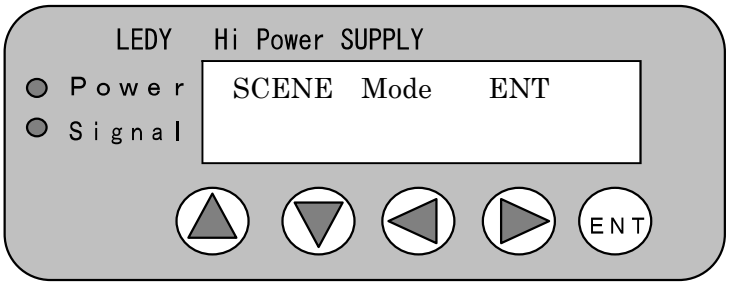
ボタンにて　シーン番号を選び ENT を押すとシーンが再生されます。
この状態にて電源を落として、もう一度電源を入れると設定をしたシーンが再生されます。
※シーン再生は１秒にてフェードインします。
シーン再生モードから離脱するには、 ボタンにて下図を表示させ ENT を押し　離脱します。



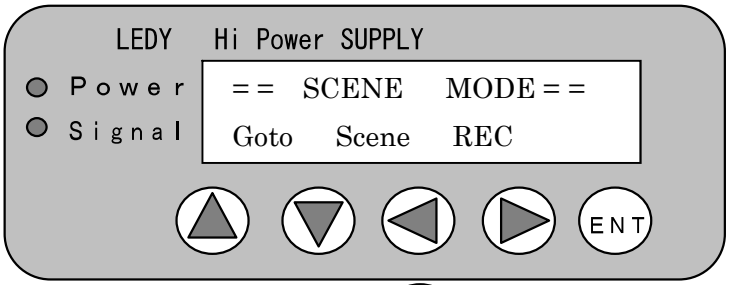
Mode　EXIT　→　ENTER　にて離脱すると　再生されていた明かりは　消灯します。

３、DMX 出力をシーンに記憶する方法

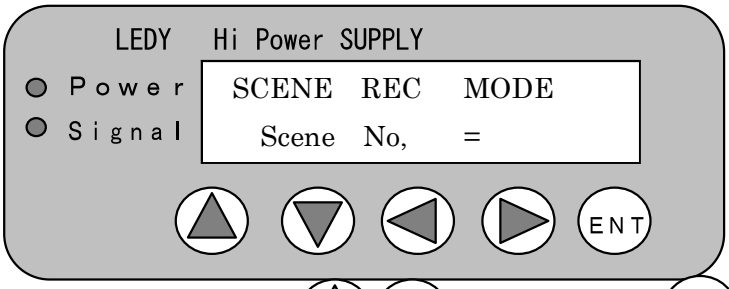
・DMX 出力の調光卓を接続し　１シーンごとにメモリーに記憶します。
Signal Lamp が緑色に点灯します。
複数の灯体に記憶する場合は、各灯体の DMX 番号を確認して記憶してください。



①　SCENE　Mode　ENT　ENT　ボタンを押す。



②　Goto Scene REC　ENT　ボタンを押す。



③　Scenen　No　ボタンにて設定　ENT　にて確定

④　以上の操作をシーンごとに各灯体で行ってください。

注意事項

DMX 出力にてシーンを作成する場合、DMX 出力が最優先されます

このため、シーンに修正をする場合は再度　調光卓を接続してシーンに上書き修正をしてください。

現場にて記憶したシーンを修正する方法

（調光卓がない場合）

①　“SCENE　REC　MODE“　REC　Scene　= シーン番号

修正するシーンを　ボタンによって選択します。ENT ボタンを押すと実行修正

②　　ボタンを 1 回押すと　#B のレベルが表示されます。

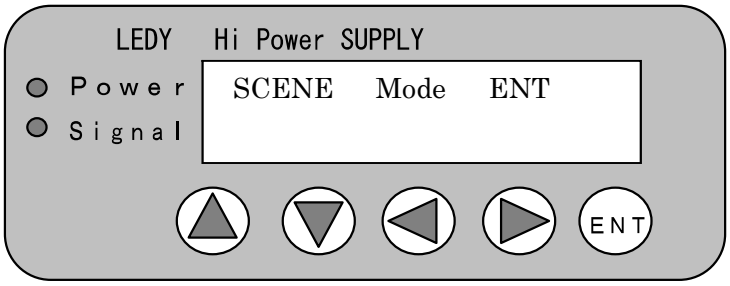
修正をする色を　選択して　ボタンにてレベルを調整し、

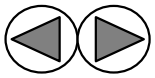
ボタンにて　“**REC　Scene　=　シーン番号**　を表示。ENT ボタンにて修正完了

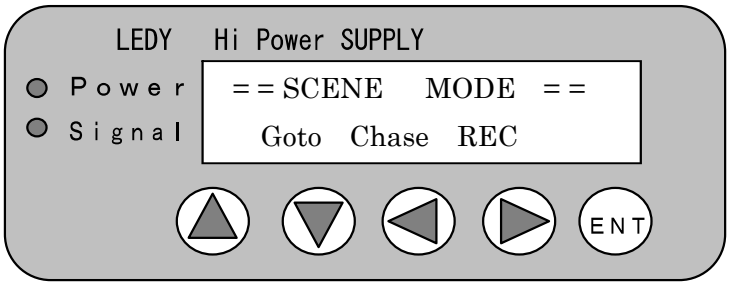
MEMO

CHASE シーンの作り方。

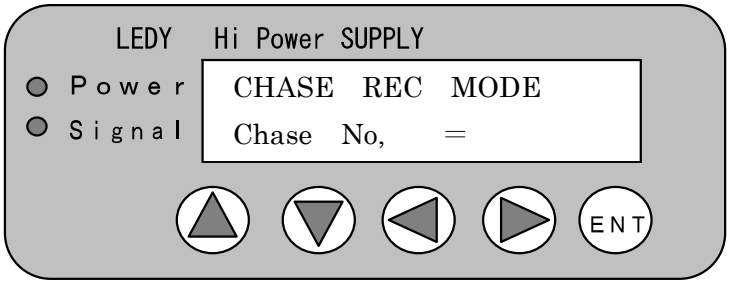
※　Chase シーンは　10 シーン作成できます。
※　Fade-IN 0 秒～3000 秒(50 分)　Wait-Time 0 秒～3000 秒（50 分）設定可能
※　1 Step(1-Scene)ごとに　Fade-in,　Wait-Time　を設定することはできません。
※　Chase Step(Scene)は　1 scnen~5scene, 11scene~25scnen, のように連番のみでしか
Chase Step を設定できませんので、あらかじめ　“SCENE”　を作成する時に“CHASE”を考慮して作成してください。

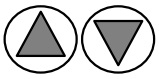


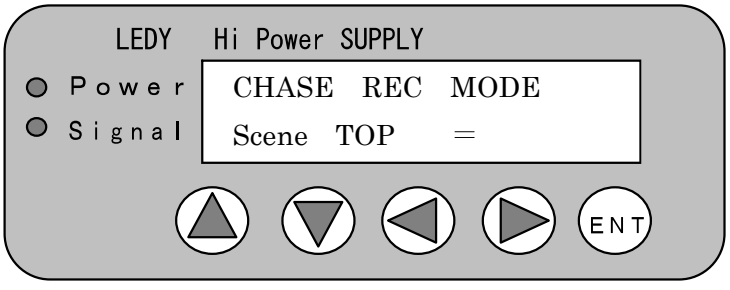
①　  　ボタンにて“SCENE Mode ENT”を選択　 　ボタンを押してください。



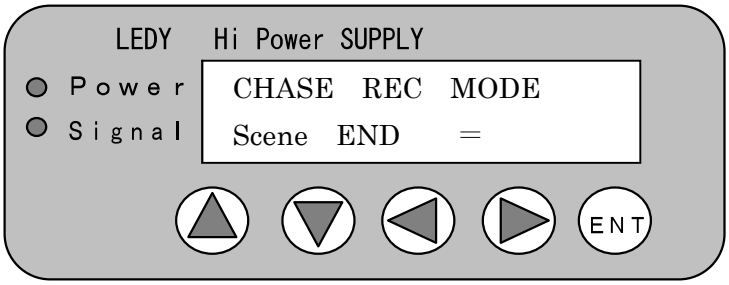
②　 　ボタンにて　“Goto Chase REC“ を選択　 　ボタンを押してください。



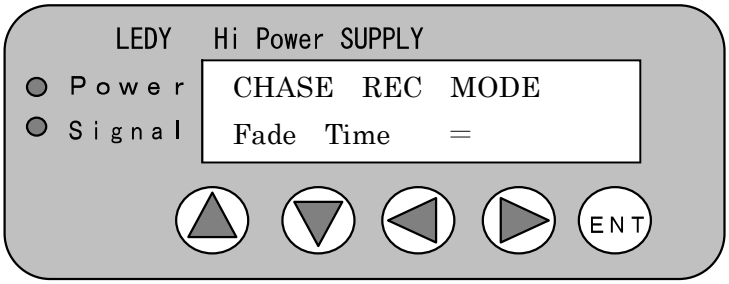
③　  　ボタンにて　“CHASE No“　を決め　 　ボタンを押す。



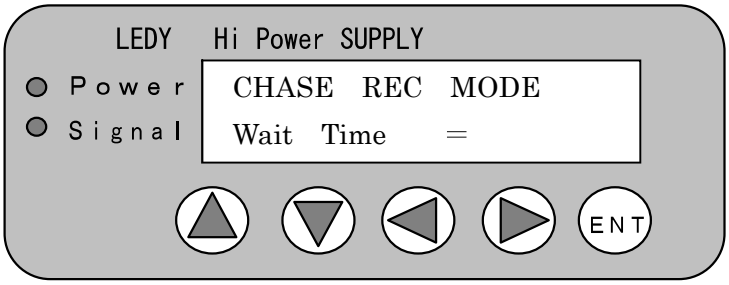
④　CHASE STEP の最初のシーンを▲▼ ボタンによって選択しENTボタンを押す。



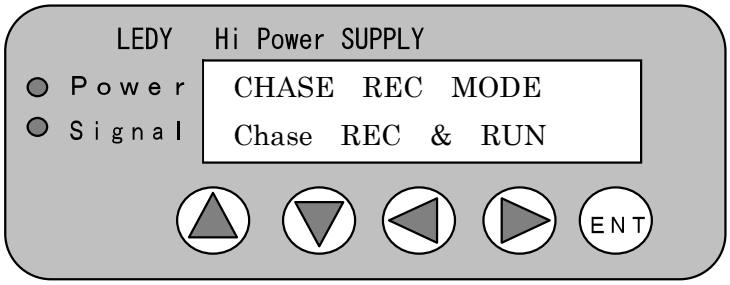
⑤　CHASE STEP の最後のシーンを▲▼ ボタンにて選択しENT ボタンを押す。



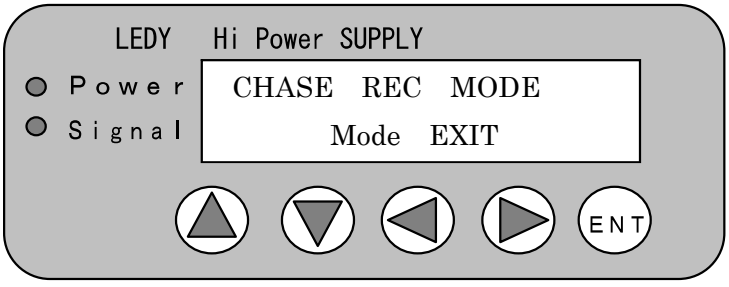
⑥　Fede-Time を▲▼ ボタンにて設定し、 ENT ボタンを押します。



⑦　Wait Time を▲▼ ボタンにて設定し、ENT ボタンを押す。



⑧　“Chase REC & RUN” にて今記憶したデーターを確認します。
修正する場合は◀ ボタンにて修正箇所まで戻り データーを▲▼ボタンにて修正し
“Chase REC & RUN “ にて ENT ボタンを再度押し確定します。



CHASE シーン記憶が終了したら

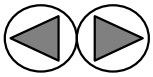
ボタンにて　上図の表記画面を出し、 ボタンにて　モードから離脱してください。

離脱した時点にて　今まで実行していた明かりは消灯します。

☆☆☆　ボタン操作について

各 Mode から次の Mode に移行する場合 ボタンにて移行しています。

これは ボタンを押す事により　必ず次のステップに進むからです。

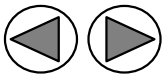
同様に  ボタンによって　次のステップ、または、前のステップに戻る事も可能です。

データーの記憶確定は　“Chase REC & RUN “ にて ボタンを押した時点にて確定いたします。

<u>※SCENE の作り方でも説明しましたが、Scene No, Fade-in, Wait-Time, などで数値を早送り、早戻し方法</u>

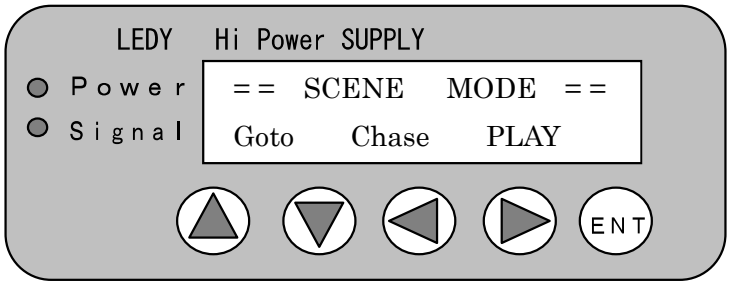
・早送り 押しながら or ボタンを押し続ける。

押し続けている間は　早送り状態です。

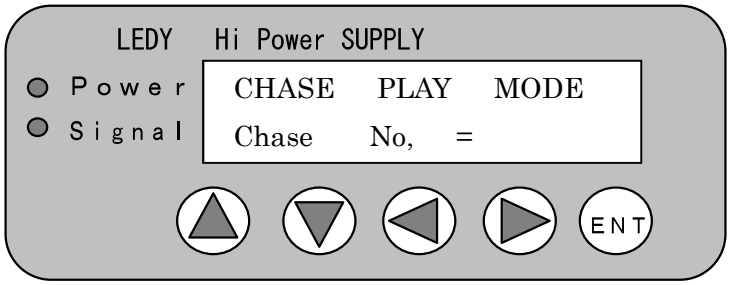
早送りを解除する場合は、  ボタンから指を放してください。

・早戻し ボタンを押しながら or ボタンを押し続ける。

CHASE シーンの再生の仕方



① ボタンにて 上記を表示します。 ENT ボタンにて次のモードに移行します。



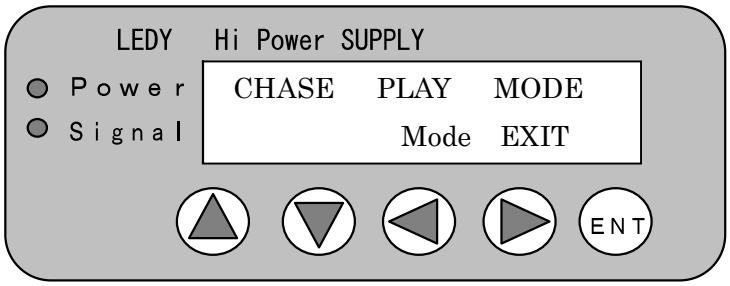
② ボタンにて Chase No を選択し、 ENT ボタンを押すと明かりが実行します。

※ CHASE PLAY MODE にて実行している明かりは、再度電源投入時に 実行いたします。

※

このため 違うモードにて使用する場合は、 ボタンを押し下記表示にして ENT を押し

“ CHASE PLAY MODE “より 離脱してください。



★★★

MODE のシステム概要図

LAMP CHECK	Intensity	Spot Address	DMX Address	Set-up Mode	SCENE Mode	LAMP CHECK

Display 表示

各モー 設定 Sp ress, ddre

Spot Address 001	DMX Address 001
Intensity ON	Intensity OFF

Intensity が表示されます。

Default(初期設定)

MENU	Lamp Check	Intensity	CURVE	Time Delay	DMX Signal	Power save Mode	LCD Back Light	Operation
Default	OFF	OFF	Slow-bottom	0.06sec	Hold-ON	Save-OFF	Auto-OFF	Lock-OFF
	ON	ON	Slow-curve＋Flash	0.00	Hold-Off	Save-ON	ON	Lock-ON
			Flicker - less	0.03				
			Marble - Mode	0.10				
				0.15				
				0.20				
				0.25				
				0.30				
				0.50				
			SET UP MODE					

Set-UP Mode

Set-UP Mode ENT	CURVE	Time Delay	DMX Signal	Power Save Mode	LCD Backlight	Operation	EXIT Set-UP Mode
ENT							ENT

SCENE MODE

SCENE Mode ENT	SCENE MODE					
	Goto Scene REC	Goto Scene PLAY	Goto Chase REC	Goto Chase PLAY	Goto Cascade	Mode EXIT
ENT						ENT

SCENE REC MODE

SCENE Mode ENT	Goto Scene REC	SCENE No, =	Mix Color Input	#B,#G,#R, #Am, #W, Strobe	REC SCENE =
ENT	ENT				ENT

Mix Color Input

Mix Color Input	#14	#16	#17	#18	#22	#31	#33	#35	#37	#38	#40	#45	#52	#55	#57
ENT	#59	#64	#65	#67	DB	#72	#75	#78	#79	#83	#84	#85	#87	#88	Pu4
	coolW	W													

SCENE PLAY MODE

SCENE Mode ENT	Goto Scene REC	Goto Scene PLAY	Scene No, =
ENT		ENT	ENT

CHASE REC MODE

Goto Chase REC	Chase No,=	Scene TOP =	Scene END =	Fade Time =	Wait Time =	Chase REC & RUN
ENT	ENT					ENT

CHASE PLAY MODE

SCENE Mode ENT	Goto Scene REC	Goto Scene PLAY	Goto Chase REC	Goto Chase PLAY	Chase No, =
ENT				ENT	ENT

※※※　メモリーALL 消去コマンド

SCENE, CHASE,メモリーを各 SCENE,　CHASE　の REC モード時に ＆ 同時に押して下さい。　記憶された全てのメモリーが消去されます。

危　険

DMX 信号受信状態にて　（ＳＰＯＴ　ＡＤＲＥＳＳ設定 Mode）
メインメニューにて **ボタンを 2 秒以上長押しをしないで下さい。**
ROM に書き込んでいる全てのデーターが消去されます。間違ってモードに入った場合は、 **ボタンにて**
“Mode　EXIT”　を表記し **ボタンを押してください。**

すべて初期状態になりますので　絶対にしないで下さい。

株式会社　ケイエムステーション
〒352－0011　埼玉県新座市野火止2－11－25
TEL:048－424－5620　FAX:048－424－5625